



藍原 章 議員

環境教育の推進及びカーボンニュートラル達成に向けた学校施設のZEB化の推進について

問 カーボンニュートラル達成に向けた学校施設のZEB化の推進状況は

省資源・省エネルギーを意識しながら、経費面・作業面で優位な方法を研究していきます

答 省資源・省エネルギーを意識しながら、経費面・作業面で優位な方法を研究していきます

問 滋賀県内のエコスクール認定校の省エネ効果、教育効果を参考にしているかどうか。

答 教育指導部長

エコスクールの取り組みは、資料等で確認しています。また、身近な例として、高島市役所の新館が最新の省エネルギー技術と自然エネルギーを積極的に活用した施設であることから、これを利用することも考えています。身近な場所にある施設を子どもたちの環境学習教材として活用することは大変意義のあることであり、先進の小学校も含め、市役所見学の学習メニューに加えるなど、今後研究していきたいと考えています。

ZEB：建物で消費する電気や熱などのエネルギーを省エネや創エネによって収ゼロにすることを目指した建物
エコスクール：環境負荷の低減や自然との共生を考慮した学校施設として整備し、環境教育の教材として活用するもの

問 学校施設改修時の部分的な「ZEB化事業」の推進状況は。

答 教育指導部長

今年度から3年をかけて実施します今津中学校長寿命化改良工事では、照明器具の

ED化、断熱性の高い資材や一部で地域産材を使用するなど省エネルギーにも配慮した改修工事として進めており、部分的な「ZEB化」の視点につながるものと考えています。今後も省資源・省エネルギーを意識しながら様々な補助金を組み合わせる方法や、大規模改修時に合わせて実施する方法など、経費面・作業面で優位な方法を研究していきます。

問 エコスクールの実施状況は。

答 教育指導部長

これまで、市内の学校においてエコスクールの認定を受けて施設改修を実施した事例はなく、効果の検証には至っていませんが、各学校の総合的な学習の時間等でグリーンカーテン作りや、ヨシ刈り、よしづくり、森林再生活動など、特色のある自然体験学習や地域学習を行う中で、地域の環境について考える取り組みを進めています。

その他の質問

地域気象防災力向上と気象アドバイザーの活用について